

Tour of Oman

Stage 2: Al Rustaq Fort > Yitti Hills / 202,9 km

ファンチェルが起伏のあるステージで 11 位に入り、総合 9 位に浮上。ガリッポは不運にも残り 50m で落車



開催日: 2月9日

コース: Al Rustaq Fort > Yitti Hills

参加チーム: 18 teams (9 WT, 5 PT, 3 CT, 1 NT)

出走選手数: 116人

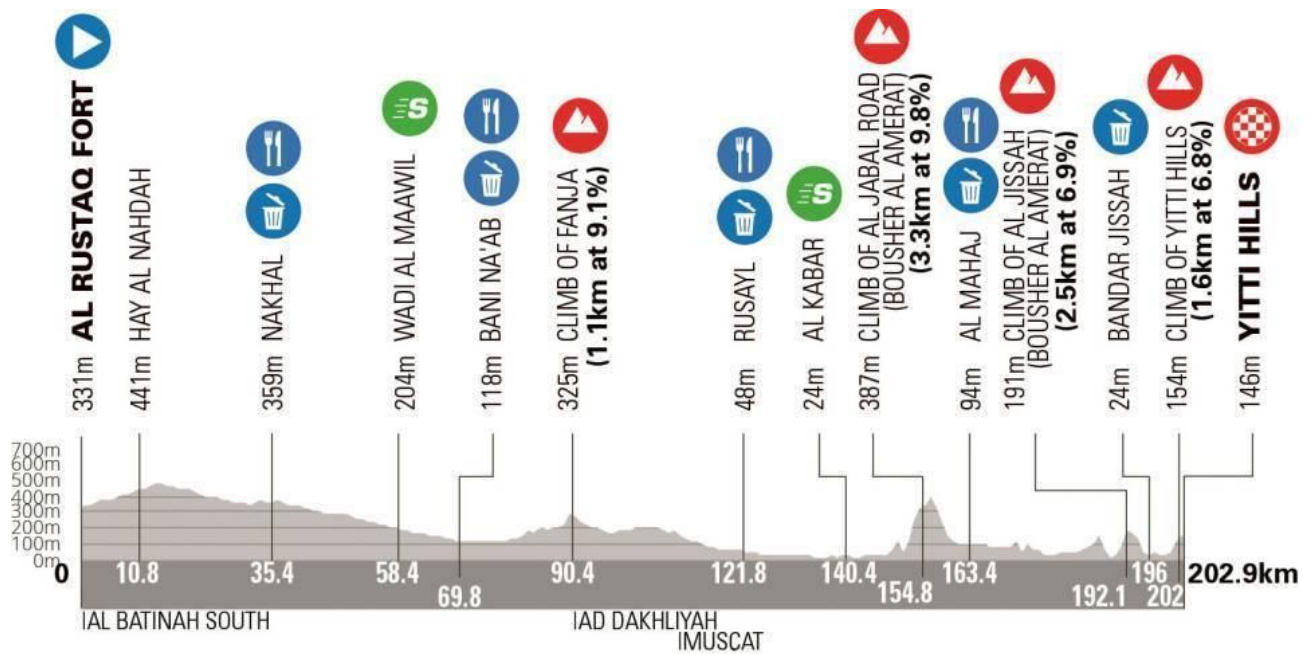
JCL TEAM UKYOメンバー: アレッサンドロ・ファンチェル, マルク・カベド, アンドレア・ダマート, ニコロ・ガリッポ, 石橋学, 増田成幸, ナホム・ゼライ・アラヤ

JCL TEAM UKYO監督: MANUELE BOARO

レース公式サイト: <https://www.tour-of-oman.com/en>

JCL TEAM UKYO公式サイト: <https://jcl-team-ukyo.jp/>

Photo: <https://x.gd/di7Dj>



Tour of Oman第2ステージは、総合争いを狙う選手とパンチャーにとって最初の戦いの場となると予想されていた。

このステージは、アル・ルスタク・フォートからイッティ・ヒルズまでの 202kmと、今大会で最長の距離を誇る。序盤は平坦基調で、90km地点にファンジャ (1.1km・9.1%) の短いが厳しい登りが登場。中間スプリントはワディ・アル・マアビルとアル・カバルの 2カ所に設定されていた。

レースの本格的な展開は残り 50km地点のアル・ジャバル・ロードの登りで始まり、その後のアル・ジッサ (Al Jissah) とイッティ・ヒルズ (1.6km・6.8%) が勝負どころと見られていた。

JCL TEAM UKYOは、総合を狙うアレッサンドロ・ファンチェルとナホム・ゼライ、さらにこのステージに適性のあるニコロ・ガリッポを守る戦略で挑んだ。

第1ステージと同じく、レース序盤に逃げ集団が形成される。

アルバレス (Burgos)、リチャーズ (ROOJAI)、アル・ワヒビ (Oman) が飛び出し、後にクルセット (Uno-X)、アル・ハサニ (Oman) が合流。

このまま第1ステージと似た展開になるかと思われたが、Soudal Quick-Step と UAE Team Emirates XRG の選手が30km地点でアタックし、ペースが大きく上がった。

JCL TEAM UKYOの選手たちは、集団の前方をキープしつつ、無駄なエネルギー消費を避けながらレースを進めた。

やがて逃げのリードは5分に拡大。ここでレイ・ヴェルヴァーク (Soudal) が動き、アスパレン (Q36.5) がそれに合流。

その後、マドウアス (FDJ) とアウラー (Movistar) も追撃を試みたが、15kmの追走の末に集団に吸収された。ヴェルヴァークとアスパレンは、長い追走の末に先頭グループに合流。

この時点で、アル・ハサニが脱落し、逃げは再編成された。

アル・ジャバル・ロードの登りでは、ヴェルヴァーク、アスパレン、クルセットがハイペースで抜け出し、残りの逃げメンバーは脱落。

メイン集団もここで活性化し、JCL TEAM UKYOの全選手は集団内に留まった。



ヴェルヴァーク、アスパレン、クルセットの 3人は良い協調体制を維持し、メイン集団は高いスピードで追走。UAE Team Emirates XRG、XDS Astana、Team Jayco AlUla がペースを作り、総合リーダーのオラフ・コーイ(VISMA)を脱落させることに成功。

それでも逃げ3人は粘り、残り 17kmで3分のリードをキープ。

ここで追走集団が一気にペースを上げ、アル・ジッサの登りでヴェルヴァークが独走を開始。

後方では、ダヴィド・ゴデュ(FDJ)らがアタックするも決定的な差はつかず。

ヴェルヴァークはイッティ・ヒルズの登りに入る時点で 1分弱のリード。

Groupama-FDJ が集団を牽引し、残り 1kmでクルセットとアスパレンは吸収されたものの、ヴェルヴァークは逃げ切って勝利を飾った。

後方では混戦のスプリントが展開されたが、集団内で 2度のクラッシュが発生。

JCL TEAM UKYO のニコロ・ガリッポは最初の落車を回避したものの、直後に目の前で倒れた選手を避けきれずに転倒。

幸い、ゴール後に自力でフィニッシュし、骨折などの大きな怪我はなかったが、腕と脚に擦過傷、膝の痛みを負った。

一方、アレッサンドロ・ファンチェルは落車を避けるために減速しながらも、11位でフィニッシュし、総合 9位に浮上。

ナホム・ゼライとガリッポも無事にメイン集団でゴールした。



ニコロ・ガリッポのコメント

「厳しいステージだった。集団の前で牽引するのを嫌がるチームが多く、逃げが 7分差まで広がったのは驚いたよ。その後の長い登りでハイペースになり、多くの選手が脱落。最後は約 40人の集団だったね。ゴール前では良いポジションを取れていたけど、クラッシュが起きた。最初の落車は避けられたけど、2回目は目の前で選手が倒れたから避けようがなかった。かなり強く地面に打ち付けられたけど、骨折はないし、擦過傷と膝の痛みだけで済んだのは不幸中の幸いだよ。」

STAGE 2 RESULT:

1. Louis Vervaeke (Soudal Quick-Step) in 4h45'06"
2. Valentin Paret-Peintre (Soudal Quick-Step) +2"
3. Sean Flynn (Team Picnic PostNL) s.t.
11. Alessandro Fancellu (JCL Team Ukyo) s.t.

STAGE 2 GC:

1. Louis Vervaeke (Soudal Quick-Step) in 9h12'15"
2. Valentin Paret-Peintre (Soudal Quick-Step) +6"
3. Sean Flynn (Team Picnic PostNL) +8"
9. Alessandro Fancellu (JCL Team Ukyo) +12"

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
 田村 遼 (広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
 増田 深雪 (広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

